



挨拶

同窓会長

村岡 兼幸



第43号
発行所
秋田県立本荘高等学校
印刷
(株)本間印刷所

本荘高校同窓会員の皆様におかれましては、日頃より同窓会ならびに母校に対しご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年、7月発刊の「玲瓏同氣」でPRさせて頂きましたが、9月30日、本高同窓会創設110周年の記念式典・講演会が、卒業生と在校生約一千名が、カダーレ大酒店に一堂に会し、共に伝統の重みを感じつつ盛大に開催することができました。

周年事業の目的は、同窓各位の連帯感と現在及び未来に向かつて、母校の発展に資することであります。式典の冒頭には、本高卒業生93期の北嶋信也君によるオペラで開演しました。北嶋先輩が大きな夢に向かって今も努力を続けている姿に、大きな刺激を受けたとの声が寄せられました。また記念講演の橋本五郎氏からは、「真の教育とは

れまでは、日頃より同窓会ならびに母校に対しご支援・ご協力を賜り、誠にありがとうございます。昨年、7月発刊の「玲瓏同氣」でPRさせて頂きましたが、9月30日、本高同窓会創設110周年の記念式典・講演会が、卒業生と在校生約一千名が、カダーレ大酒店に一堂に会し、共に伝統の重みを感じつつ盛大に開催することができました。

何か」と題して、本当に意義深く、感動的なお話しに、多くの本高生が涙を浮かべて聴いていたことが、とても印象的でした。

同窓会創設110周年開催にあたり、本当に多くの同窓会員のご参加・ご協力を賜りましたことに改めて、深く感謝申し上げます。

さて、私はつい最近、大腸がんの内視鏡治療の世界的権威の工藤進英教授の講演を聴きました。その講演は、橋本五郎氏の「眞の教育とは何か」の原点に迫る内容なので、その一部を紹介します。

まずは、ゲーテの言葉を引用して、「人間は、自分が知っているものしか見ようとしない」・・・なぜならその方が楽だからです。医学で例をあげると、経験豊富な名医であつても、自分が知っている症例だけで判断したならば、新しい発見や治療法は開発されないというコト

です。かつて大腸がん治療の中心はボリープ型がありました。今から約30年ほど前に、陥凹型がんの発見と治療法を世界で初めて確立した工藤教授だからこそ云える、説得力のある言葉だと思います。

このことを、「発見とは皆が見てきたものを見て、皆が考えなかつたことを考へることだ」という名言に託しているのです。



また、地元秋田県の高校生に対するメディカル・キャンプを、工藤教授の昭和大横浜市北部病院にて実施、大腸の内視鏡検査や外科手術を見学するほかトレーニング装備で内視鏡操作を体験させるなど、その体験により医学部を志望している生徒達の意識が変わると云いままでに自分が発見・確立した大腸がんの治療技術を惜しげもなく公開し、世界中から集まる医師の後進の指導にあたり、乞われれば、世界のどんな危険な地域にも足を踏み入れ、奮闘する姿勢が世人の目に残りました。医師になりたい」という明確な目的地を持ったことだと思います。医学生に入るための苦しい受験勉強ではなく、その先のもっと大きな目標が定まった時、生徒達は今まで以上に、死に物狂いで勉強するようになつたそうです。そして、現実に秋田県の高校生の医学部への進学率が確実に向上しており、本高においても、是まで医学部医学科に合格した卒業生の大半はキャンプに参加していました。この度は、まさに高校生の純粋さ、無我夢中な決してあきらめずに笑顔でプレーしたチームの姿にあつたのだと思います。

これは、まさに本高の校標の一つ「玲瓏同氣」に近い精神性だと思います。同窓会が111年目のスタートを切るにあたり同窓会員の皆様が、そして本高生がそれぞれの人生の目的地を定め、「玲瓏同氣」の誇るべき校標の精神で、ご健勝でご活躍されますことをご祈念申し上げ挨拶いたします。



本荘高校定時制課程

創設七十周年にあたつて

校長 今井智幸

同窓会員の皆様には、日頃より

本校の教育活動に格別の御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

昨年は、本校同窓会創設110周年記念行事を盛況のうちに終えることができました。関係皆様の御協力、御尽力に心から感謝と敬意の念を申し上げます。

今年は、本荘高校定時制課程創設70周年の記念の年を迎え、10月20日に記念式典等が行われることとなっています。本校のように定期制課程が、これまで同じ一つの学校に一貫して存続し続けたケースは、県内でも稀です。

定時制課程は、秋田県立本荘中学校が秋田県立本荘高等学校と改称された昭和23年の6月26日、本荘高校に定時制課程中心校が併設され、普通科、農業科、商業科、家庭科の4学科でスタートしました。その年には早くも、当時の由利郡町村に八つの分校が生まれます。当時の地元町村の人々の大きな期待と揺るぎない熱意によって

誕生した歴史があります。

全定を貫く教育方針、

1 教育活動全体を通じて、未来を切り拓く人間力や社会に貢献する人材を育成する

2 キャリア教育の充実の下、志高く自己実現を果たそうとする態度を育成する

の下、全定を問わず、予測が困難な時代にあって、自己の未来のみならず、ふるさと秋田の未来やこれから時代をたくましく切り拓いていく人材の育成に、職員一同力を合わせて取り組んでいます。今後も同窓会、PTA等の関係機関をはじめ、地域社会とも連携を図りながら本校の教育活動の一層の充実に努めていく所存です。これまでと変わらない母校への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。



定時制課程より

進路指導部より

定時制課程 教頭
藤原 健

日頃、定時制課程の教育活動に御理解と御協力を頂き、この場を借りて感謝申し上げます。

さて、昭和23年に創設された本課程は今年度70周年を迎えた。この70年の節目に華を添した。この70年の節目に華を添える生徒たちの頑張りを少し紹介させていただきます。

6月の全県定通総体において、軟式野球部が横手定を破り、全県初優勝を果たしました。また、卓球女子個人では全県3位となり、昨年に引き続き8月上旬の全国大会に出場しました。

剣道女子個人も全県2連覇を果たし、さらに8月上旬の全国大会では個人3位を勝ち取りました。参加した生徒、保護者、応援する全校の生徒にとつても誇らしく、記憶に残る活躍となりました。

これからも定時制課程は伝統

難関大学では、東北大学文学部に過卒1名、秋田大学医学部医学科に過卒1名、国際教養大学に現役1名合格と、現役の合格者が少なくなっていますが、第一志望を貫いた過卒生も底力も見せつけてくれました。

今年の3年生も、高い目標と

8月29日(金)	7月6日(木)	6月16日(金)	4月26日(金)	3月28日(水)	1月27日(土)	1月11日(日)	1月14日(日)	1月15日(月)	1月15日(火)	9月30日(土)
会員会	支部連絡協議会	同窓会創設110周年記念講演会	講師・橋本五郎氏	第110回総会	同窓会創設110周年記念祝賀会	関西支部総会	東京同窓会総会	仙台支部総会	第4回110周年実行委員会	■平成29年9月11日(月)
役員会	役員会	同窓会P.T.A合同新年講演会	講師・57期伊藤勇氏	新年祝賀会幹事打合せ①	新年祝賀会幹事打合せ②	新年祝賀会幹事打合せ③	新年祝賀会幹事打合せ④	新年祝賀会幹事打合せ⑤	新年祝賀会幹事打合せ⑥	9月30日(土)
役員会・常務理事合同会議	役員会・常務理事合同会議	同窓会入会式	卒業証書授与式	春季全国大会激励	同窓会P.T.A合同新年講演会	祝賀会	同窓会幹事打合せ⑦	同窓会幹事打合せ⑧	同窓会幹事打合せ⑨	9月30日(土)
会計監査会	会計監査会	本荘高校職員送別会	卒業祝賀会	卒業祝賀会	本荘高校職員送別会	第116期生入学式	本荘高校職員歓迎会	本荘高校職員歓迎会	本荘高校職員歓迎会	9月30日(土)
役員会	役員会	北海道支部総会	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	夏季全国大会激励	9月30日(土)

これまでと変わらない母校への御理解と御支援を賜りますようお願い申し上げます。

これからも定時制課程は伝統を継承しながら、時代に柔軟に対応した教育活動を着実に開して参りたいと思ひます。今後とも本課程への御指導と御支援をよろしくお願ひ致します。

進路指導部 武石知也

の進路状況について報告いたします。就職者が14名（うち5名が公務員）、進学者が200名（うち95名が国公立大学※短大含む）です。

昨今、地方国公立大学の人気が高まる中で、国公立四年制大学の延べ合格者数は昨年の78名から104名（実数94名）と大きく躍進しました。その要因には、担任をはじめとして三年生に関わるすべての教員のきめ細かい進路指導がありました。面談も様々な場面で行われ、生徒の心情に常に寄り添つたおかげだと思います。

ます。就職者が14名（うち5名

部活動の活躍

端艇部(部員49名、顧問 大友敦雄・浅沼宏明・畠山圭亮)

- ・インターハイ
女子舵手付きクオドルブル 第4位
男子舵手付きクオドルブル 準決勝
男子シングルスカル 準決勝 須田涼介
女子ダブルスカル 準々決勝

・東北大会

- 女子ダブルスカル 第1位
男子舵手付きクオドルブル 第2位

・全県総体

- 男子舵手付きクオドルブル 第1位
男子ダブルスカル 第2位
男子シングルスカル 第1位 須田涼介
女子舵手付きクオドルブル 第1位
女子ダブルスカル 第1位

バスケットボール部(部員42名、顧問 佐藤幸二)

- ・全県総体
男子 準々決勝 本荘68-102平成

卓球部(部員25名、顧問 伊藤則和・菊地達八)

- ・全県総体
男子団体 2回戦 本荘0-3角館
女子団体 2回戦 本荘0-3秋田
男子ダブルス 3位 渡邊・齊藤

山岳部(部員2名、顧問 大山治彦・伊藤 心)

- ・全県総体 O.P.

剣道部(部員14名、顧問 武石知也・畠山 雄)

- ・全県総体
男子団体 予選リーグ
女子団体 予選リーグ
男子個人 第3位 大友 韶
女子個人 第5位 原田楓伽

バレー部(部員18名、顧問 佐々木 篤)

- ・全県総体
女子 2回戦 本荘0-2聖霊

硬式野球部(部員47名、顧問 大宮正人・富樫真雄・奈良省吾)

- ・全国高等学校野球選手権秋田大会
1回戦 本荘4-7秋田南

サッカー部(部員44名、顧問 中村 淳・石垣裕介)

- ・全県総体
3回戦 本荘0-0(PK3-4)男鹿工業

柔道部(部員15名、顧問 我妻沢美・江畑美保)

- ・インターハイ
男子個人81kg級 第5位 高橋大翔
女子個人78kg超級 1回戦 大場万弥

・東北大会

- 女子個人78kg超級 第1位 大場万弥

・全県総体

- 男子団体 第3位
男子個人73kg級 第2位 佐藤遼太朗
男子個人81kg級 第1位 高橋大翔

- 男子個人90kg級 第2位 佐藤 風
" 第3位 今野太智

- 女子団体 第2位
女子個人78kg級 第3位 打矢明日香

- 女子個人78kg超級 第1位 大場万弥

ソフトテニス部(部員24名、顧問 続 文明・齋藤雄一郎)

- ・全県総体
男子団体 1回戦 本荘0-3横手
女子団体 2回戦 本荘0-3秋田北

陸上競技部(部員46名、顧問 櫻田文人・河田美恵子)

- ・全県総体
男子100m 第3位 本間和志
男子1500m 第6位 斎藤 悠
男子走高跳 第4位 柴田 凌
女子100m 第3位 佐々木優和
女子400mH 第5位 佐藤花音

軟式野球部(部員22名、顧問 和田史穂・進藤 紀)

- ・選手権秋田大会 1回戦 本荘2-7秋田

水泳部(部員12名、顧問 鈴木瑞穂・宮塚信博)

- ・全県総体

- | | | |
|-------------|-----|-------|
| 男子200mバタフライ | 第6位 | 神崎敏旗 |
| 男子200m自由形 | 第6位 | 太田侑之介 |
| 女子200m自由形 | 第5位 | 船越彩菜 |

弓道部(部員52名、顧問 佐々木望・須田直子)

- ・インターハイ
男子個人 予選 伊藤 悟

・全県総体

- 男子団体 予選

- 女子団体 予選

- 男子個人 第1位 伊藤 悟

ヨット部(部員4名、顧問 江幡隆弘・渡辺 光)

- ・インターハイ

- | | |
|----------|------|
| 女子420級 | 第29位 |
| 男子420級 | 第32位 |
| 女子コンバインド | 第35位 |
| 男子コンバインド | 第34位 |

・東北大会

- | | |
|----------|-----|
| 女子420級 | 第4位 |
| 男子420級 | 第5位 |
| 女子コンバインド | 第6位 |

科学部(部員13名、顧問 松永正典)

- ・平成29年度齊藤憲三・山崎貞一顕彰会研究助成において「高低2点間を運動する最短時間の研究」で銅賞を受賞した。平成30年度も研究助成校の指定を受けた。

- ・W.R.O.(レゴブロックを使った自立型ロボット)の中核地区大会で優勝した。

- ・11月に行われる秋田県児童生徒理科研究発表大会に参加予定である。

文芸部(部員6名、顧問 木村 司)

- ・秋田県高等学校文芸コンクールで佳作を受賞した。

美術部(部員14名、顧問 森 久樹)

- ・玲瓏祭に作品を展示した。

- ・11月に高校総合美術展が行われる。

演劇部(部員18名、顧問 太田利佳子)

- ・中央地区高校演劇コンクールで最優秀賞、全県大会出場を果たした。

- ・現在は全県大会に向けて稽古に励んでいる。

放送部(部員18名、顧問 山本長幸・齋藤潤子)

- ・秋田県放送コンテスト

- | | |
|---------|----------|
| アナウンス部門 | 入選 高橋成美 |
| 朗読部門 | 入選 山下美咲 |
| 朗読部門 | 入選 伊東新之介 |

- | | |
|-------------|-------------|
| テレビドキュメント部門 | 入選 「帆を上げろ！」 |
| テレビドキュメント部門 | 入選 「future」 |

- ・全国高等学校総合文化祭

- ・朗読部門 出場 伊東新之介

吹奏楽部(部員53名、顧問 金内 哲・石川陽子)

- ・吹奏楽コンクール中央地区大会 金賞

- ・吹奏楽コンクール秋田県大会 銀賞

華道部(部員8名、顧問 夏井雅子)

- ・玲瓏祭で作品を展示した。

茶道部(部員39名、顧問 五十嵐 史)

- ・玲瓏祭で「玲瓏茶会」を開催した。

- ・第26回秋田県高等学校総合文化祭で呈茶を開催した。

写真部(部員24名、顧問 木村 郁)

- ・運動会や玲瓏祭などの学校行事での撮影や、春と夏には遠方に撮影小旅行を行なうなど活動をしている。

書道部(部員25名、顧問 佐々木志津代)

- ・玲瓏祭に作品を展示し書道パフォーマンスに挑戦した。

カヌー競技

- ・インターハイ

- | | |
|--------------|--------------|
| カヤックシングル200m | 6位 松川瑛 |
| カヤックペア500m | 8位 佐々木絵・阿部智礼 |

- ・東北選手権

- | | |
|------------|--------------|
| 男子カヤックシングル | 4位 阿部智礼 |
| 男子カヤックシングル | 5位 松川瑛 |
| 男子カヤックペア | 3位 佐々木絵・阿部智礼 |

- ・全県総体

- | | |
|----------|--------------|
| カヤックシングル | 1位 松川瑛 |
| カヤックシングル | 2位 佐々木絵 |
| カヤックシングル | 3位 阿部智礼 |
| カヤックペア | 1位 佐々木絵・阿部智礼 |



支部だより

秋田支部総会は、6月1日会員88名の参加を得て、秋田キャッスルホテルに於いて開催された。

当団は村岡会長はじめ渡部副会長、斎藤副会長、母校から今井校長、同窓会事務局から木村事務局長および三浦英一秋田県議会議員のご列席をいただいた。

総会は、午後6時に校歌斉唱の後、村山公雄（70期）支部長の挨拶、会計報告と進行したのち、役員改選で副支部長に嵯峨直司（75期）、幹事長に梅津順（76期）の各氏が新たに就任した。副支部長をこれまでの3名から1名増員し、より一層支部活動をいただいた。

幹事長 梅津順（76期）
副支部長に嵯峨直司（75期）、幹事長に梅津順（76期）の各氏が新たに就任した。副支部長をこれまでの3名から1名増員し、より一層支部活動をいただいた。

幹事長 梅津順（76期）
副支部長に嵯峨直司（75期）、幹事長に梅津順（76期）の各氏が新たに就任した。副支部長をこれまでの3名から1名増員し、より一層支部活動をいただいた。

本荘高校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃は、会の運営に事務局、役員のご協力に感謝申し上げます。

おかげ様で今年度も、第45回・庄内支部総会、会員10名、ご来賓5名と少數総会になりましたが、無事に開催する事ができました。当日は、母校の玲瓈祭初日にもかかわらず、ご多忙のところ、同窓会会長、学校長はじめご来賓をお迎えできました事、誠にありがとうございました。

今後とも諸先輩のアドバイスなど受けつつ、継続して参りたいと思つて

懇親会では、在学当時の思い出話で大いに盛り上がりがったほか、世代を超えた絆を強めるなど、有意義な時間過ごすことができた。最後は、今後さらなる同窓会の飛躍・結束を誓い合い、湯元副支部長の閉会の辞で幕を閉じた。

幹事長 梅津順（76期）
本荘高校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃は、会の運営に事務局、役員のご協力に感謝申し上げます。

おかげ様で今年度も、第45回・庄内支部総会、会員10名、ご来賓5名と少數総会になりましたが、無事に開催する事ができました。当日は、

本荘高校同窓会会員の皆様におかれましては、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。また日頃は、会の運営に事務局、役員のご協力に感謝申し上げます。

おかげ様で今年度も、第45回・庄内支部総会、会員10名、ご来賓5名と少數総会になりましたが、無事に開催する事ができました。当日は、

動の充実をはかる方針である。
乾杯の音頭は、伊藤次男（55期）顧問がとつた。同氏は平成30年春の叙勲で旭日双光章を受章されており、これまでの功績に対し、参加者から温かい拍手が送られる一幕もあつた。

毎年開催される同窓会も、今回を持ちまして創立45周年を迎える事ができました。この45年という長い歳月、同窓会を支えてくれた諸先輩方のご努力と共に本部同窓会、母校、そして会員の皆様に敬意と感謝の念を捧げたいと思います。

本来であれば盛大な式典を催され、記念総会として開催すべきところですが、期待に応えられなく誠に申し訳ないと思つております。

さて、前回の総会において支部長に選出され、大役を引き受けさせていただき、2年目になります。一つ上げますが、中々情報が無く困っております。今後とも諦めることなく進めて参りたいと思います。

また、毎回出席する方の顔ぶれが、だいたい決まつております。

3、会の締めくくりは、やはり校歌と各部の応援歌11曲すべて（一小節）を、その時ばかりは、一気に皆若返り、声高らかに歌い上げます。終わってみると酔いもさめ、たいへん疲れます。

事務局 鷹島武（56期）

庄内支部



庄内支部

「同窓会仙台支部をつなぐ」
昨年度の総会で前三浦支部長の後を引き継いで支部長を担うことにな

りました。宮城県の高校に永年務めおりましたので同窓会のご苦労はよく分かつておりました。よもや、自分が役員となつて仕事をするとは思いませんでした。これから、短い期間ではありますが、先輩方のご指導を仰いで仙台支部を発展させていきたいと考えております。

さて、仙台支部は平成3年に設立され、以来27年を経たわけあります。その間平成6年の全国高校駅伝大会（宮城県開催）の応援、12年の10周年記念行事、平成20年の記念行事等、音楽、芸能に関わる催しも実施してまいりました。

昨今、いざれの高校でも同窓会へ参加する若い会員が少なくなり課題となつておりますが、本部発行の「会報・玲瓈同氣」を拝読するにつけて、他支部の隆盛は羨ましくご指導願いたいものです。

平成30年度の仙台支部の総会は9月8日、パレス平安で開催されました。会長の村岡兼幸様、校長の今井智幸様のご出席を賜りご挨拶を頂戴いたしました。ありがとうございました。

2017年の同窓会会員名簿によると、会員の県別分布数は岩手県（43）、宮城県（274）、山形県（125）、福島県（46）でした。さらに、市区町村別ランクインでは仙台市青葉区（6位・61名）、泉区（8位・58名）、太白区（13位・43名）と上位にランクされる。従つて、もつと仲間と語らう機会をつくり、支部の

仙台支部



仙台支部

「同窓会仙台支部をつなぐ」
昨年度の総会で前三浦支部長の後を引き継いで支部長を担うことにな

(5) 第 43 号

さて、関西支部では昨年の10月の総会において、任期満了に伴う須田和朝氏（65期）の後を受け、工藤皇（66期）が支部長に就任しました。会員の高齢化が進む実情を踏まえ、若手のメンバーを増やすことを最大目標に今後の支部運営を図つてしまいりたいと考えています。

関西支部は、関西の企業等への就職、転勤、結婚などで在住の方や、

りました。講演会では、シンスター・ジャパン株式会社代表取締役社長伊藤勇様（57期）による「マラリア（世界三大感染症）」の治療薬を目指してのお話をいただきました。演奏会は佐々木由美子様（77期）によるフルートアンサンブルで、「三味線とのコラボレーションによる本荘追分他を演奏いたきました。講演会、演奏会とも大変好評でした。

北海道支部

平成30年7月6日、第29回北海道支部総会および懇親会がプレミアホテル中島公園（札幌）で開催されました。

北海道支部長 梅津真(64期)

参考までに文中以外の総会参加者
は齋藤和雄(48)、畠山齋(50)、五
島繁(54)、佐藤義信(57)、細谷
幸夫(59)、加藤幾芳(61)、志村曉
(63)、敬称略、数字は期。)

になつています。

関西支部

参加者が増えることを期待しております。この場をお借りして来年度の総会の案内をさせてもらいます。毎年、9月の第二土曜日を「総会」の定例日とし開催します。会場は未定ですが今まで案内のなかった方、仙台支部会員として案内を希望される方は是非連絡してほしいと思います。(連絡先・090-2793-1574 早川)

関西の大学等に進学後にそのまま同地に在住の方が主な会員の構成となつていています。その意味で今後新規入会が最も期待されるのは関西の大学等に進学した後輩です。関西は今、万博やIRの誘致等大変活気付いており、今後における日本の経済産業面に多大の貢献が期待されています。有能な人材が求められており、将来の担い手である若人を是非関西へお送りいただければと存じます。

当会では、ふるさと秋田の高校の同窓会との友好を大切にし、在京秋田高等学校同窓会連合会(秋高連)に参加し交流を深めるとともに、近くに由利本荘・にかほ地区の高校同窓会とは懇意にしていただいております。現在、由利高校、矢島高校とはお互いの総会・懇親会に出席するようになっています。

今年度の親睦行事は落語鑑賞会(6月)、プロ野球観戦(7月)、大相撲観戦(9月)などが計画・実施されています。

総会・懇親会の開催においては、特定した卒業年期のメンバーによる実行委員会方式が今年度で当番が一巡し定着してきました。本方式の採用により役員以外の多くの会員に会員の運営に参加していくたゞく機会が増

した。諸々の事情で本荘高校関係者と常連の同窓会員数名が欠席されたため、例年に比べてやや少なめの参加状況でしたが、村岡兼幸同窓会長が所用のあつた東京から駆けつけてくださり、いつもながらの和やかな会合になりました。総会は校歌齊唱の後、梅津真新支部長(64期)の挨拶と猪股良夫幹事長(66期)と増田聖子幹事(67期)による会計報告と監査があり、「引き続き『本荘高校校歌作詞者の再発見!』と題して猪股幹事長による講演がありました。本荘高正氏の経歴を辿り、これまで不明だった同氏の写真を発見した経緯を紹介されたもので、日本史専門家としての力量を遺憾なく發揮された興味深いお話をでした。プレミアホテルでの総会、懇親会後はいつものようにスキンに繰り出し、自慢の喉を披露するなどして懇親を深めました。マスター・ソムリエの濵谷昭氏(60期)や初代支部長小畠正八氏(44期)らのご尽力により、月例会は活発に継続されていますが、二十代から四〇代にかけての若手・中堅会員をどう

平成30年度 同窓会会計予算書（2018.9.1～2019.8.31）

収入の部

項目	本年度予算額
会 費	2,800,000
繰 越 金	803,930
会報発行還付金	0
寄 付 金	0
雑 収 入	70
合 計	3,604,000

支出の部

項目	本年度予算額	項目	本年度予算額	項目	本年度予算額
総会費	100,000	旅費	750,000	通信事務費	200,000
役員会費	160,000	会報発行費	370,000	事務局費	100,000
新年宴会費	100,000	白玲瓏印刷費	105,000	雑費	70,000
講演会費	100,000	支部助成費	420,000	予備費	399,000
新入会員費	180,000	支部連絡協議会費	0	基金拠出	200,000
慶弔費	100,000	全国大会激励費	250,000	合計	3,604,000

同窓生寄稿



53
期

本高同窓会総会が11月11日を迎えるようとしている。古きことはそれ自身でリスクペクトに値することである。生徒数が減少し、学校の統廃合が進む中では特にその感が強い。年々歳々人（生徒）は変われど、母校の建学の精神は脈々と受け継がれているのは見事としか言いようがない。

校標の一つである「右文尚武」を全うしようとするだけでも、並大抵の努力では成し遂げられない。このことは誰でも体験してきたことである。

高校時代は身体的、精神的に人生で最も大きく成長する時期である。だからこそ一層、自分の成長後の姿に期待と不安を抱きつつ、ひたすらに自己を磨き、友人と切磋琢磨しながらの深い絆を築きたい時期でもある。

「努力は報われない」という言葉が一つの真理を示しているように、若者の心を込めた努力も必ずしも思うような結果には繋がらないことが多い。

私の健康法と地域

63期 佐藤義幸

今から3年前（66歳）に筋肉トレーニングを開始したのは、テレビの健康番組で筋肉の量を維持することが健康上非常に重要であることを知ったからです。最近では、筋肉の質も重要な指摘されるようになりました。

水分は体の中で筋肉に蓄えられるので、熱中症予防において筋肉の量は重要です。筋肉の量が少ない（サルコペニア・加齢性筋肉減弱症といいます）と様々な問題が生じます。糖尿病になりやすい。リンパ球が少ないために、免疫力が低い。姿勢が悪くなる。転倒して骨折しやすくなる。冷え症になる。不幸にして抗がん剤治療を受ける場合、その結果が思わしくない、等々。

筋肉トレーニングに限らず、トレーニング、というと退屈そうで、長続きしない、と思われがちですね。例えば、明治時代の文豪、夏目漱石は、肩の位置にあるケーブルを引っ張るトレーニングなどを2日でやめています。意外なことに、明

治時代にすでにダンベルなどを利用するトレーニングがあつたのです。私は、漱石のような才能をもっていながら、この種のトレーニングは長続きするタイプです。最初に、初心者用の2kgのダンベルを準備して、トレーニングを開始しました。初めから頑張りすぎると、長続きしません。この開始日を記録。何日続いたかを知るために、これは重要です。その後、徐々に重いダンベルに移行して、現在では、8kgを超えていました。そして、トレーニングの種類も増やし、体幹トレーニングも取り入れました。

私は肥満ではないので、このトレーニングの目的は減量ではないのですが、最近の半年でみると、体重は1kg減少しています。つまり、緩やかな減量効果が生じた、ということになります。

さて、屋外でのトレーニングとなると、環境が重要となります。私は、イオンスタイルセンター本荘店の北側の住宅地（標高13m）に住んでいます。県外の方から「道路が広い！」とよく言われます。石脇のイオンの前を通っている田尻環状線とそれに接続している国道7号線のいずれも歩道が広々。そして積雪期にはその歩道の除雪体制は良好です。今年（2018年）の2月2日の午前7時、気温は氷点下10・6℃という記録的な低温。こんなにも低温の圧雪状態の路面は滑りにくいだろうとの予測のもとに、私

上記の国道7号線から子吉川の堤防に出られます。昔は、ここに本荘自動車学校がありました。そして石脇の北側の新山公園も良く整備されています。駐車スペースが十分にあります。風の強い日あるいは日差しが強い日は、林がそれを遮ってくれます。変化に富んだ景色を提供してくれます。ここで一度だけ、灰色のカモシカに遭遇しました。

はこの区間を走り、計測タイムと走りの感覚の両方から、その滑りにくさを確認しました。水道管を凍結させて困っている人たちがいるときには、私は寒さを楽しみました。

「激しく学び激しく行動」
「これで人生を変えてきた」

小野一彦
かつのひこ
73期

科学技術英語翻訳業自白
略歴

「激しく学び激しく行動」
これで人生を変えてきた

73期 小野一彦

楽しいかと思った。藤木英雄博士の「可罰的違法性の理論」に心酔し、様々な学生と出会い、裁判を傍聴し、時には一緒に困った人を助けた活動もした。その時の仲間が今、防衛省事務次官、弁護士等々大活躍だ。

県庁に入り、基盤整備、自治省、地方自治、産業経済、農山村振興を経て、総合政策の政策監、集落支援室長として全県自治会の活性化に関わり住民自治力発揮の手法を学んだ。

由利本荘市の副市長を4年間勤めた。住民と近い基礎的自治体であり、かつ広域的な地域を有する自治体の底力は計り知れない。人口減少社会では住民自治力を生かした政策の重要性をトップマネジメント自身が知り推進すべきだ。

現在、全県人口の4割の県民が住む秋田・男鹿・潟上・南秋田地域のインフラ建設・産業・防災等全般を進める仕事のトップとして毎日がわくわくだ。

今まで「激しく学び激しく行動する」という連鎖で人生を変えてきた。後輩たちよ。どんなことでも良い。激しく学び激しく行動すれば必ず芽が出て花が咲くのだ。

感謝と期待

93期 仁部 智

平成15年、TDK(株)から広島東洋カープに5巡目で指名され、入団しました。プロ野球という世界で4年間、貴重な経験をさせて頂きました。同窓会の皆様からも、ご声援を頂き、大変感謝しております。この場をお借りして御礼申し上げます。

高校生活を振り返ると、打ち込んだ硬式野球が一番の思い出です。しかし、夏の甲子園予選は3年連続1回戦敗退。当時の硬式野球部は、“臥薪嘗胆”的精神を大切にしていました。苦心し努力を重ねるということを高校野球で学び、その後の野球人生に活きたと思っています。現在、硬式野球部には勝利の12箇条というものがあります。20年以上前の93期の硬式野球部のメンバーで考えたものが今も唱和されて、実行されていることを誇りに思っています。

「勝利の12箇条」

感謝の心を常に持て
勝てない試合はない
気迫で勝利をつかめ
平常心を忘れない
集中力を常に持て
スマイル
ピンチを楽しめ
ボールは心づなげ
うるさく守りうるさく攻めろ

ヒットは打てる
苦しい時を思い出せ
俺たちはできる

夏の甲子園100回記念大会は、秋田県が大いに盛り上りました。後輩達が甲子園球場で躍動する姿を期待します。

略歴
東北学院大学卒。TDK株式会社から広島東洋カープ入団。現在、秋田精工株式会社へ勤務



本荘高校定時制

100期 大竹 佳澄



100期

佐々木 健彦

思い返すと…

時制に今でも感謝しています。この春、長女も本荘高校に入学したので、いろんな経験ができたらいいなと思います。

ありがとうございます!! これからもよろしくお願いします!!

勉強以上の事を教えてくれた定時制に今でも感謝しています。この春、長女も本荘高校に入学したので、いろんな経験ができたらいいなと思います。

ありがとうございます!! これからもよろしくお願いします!!

高校時代の私は今の自分を欠片も想像できなかつたでしょう。ただ、卒業後に経験したどれを振り返つても、カヌーほど熱中したものはありません。ひょとすると、こどやつていろんなことに挑戦しているのは、カヌーに打ち込んだあの頃と同じ情熱を注げる何かを探していながらかもしれません。そう考えるからかもしません。そう考えると、当時の高校生活がどれだけ大切な時間だったかと改めて感じます。次の10年も、私は打ち込める何かを探し、挑戦し続けるでしょう。

私は育てくれた当時の環境に感謝するばかりです。

故郷の存在

113期 繩野 早穂

略歴
国立大学法人鹿児島体育大学大学院卒業。
鹿児島アラビ放送株式会社を経て、現在
ヤフー株式会社に勤務

私の高校生活はひたすらカヌーに打ち込んだ3年間でした。終業するところアカアパルに向かい、子吉川にカヌーを浮かべました。この季節には、水上練習が終わるとオレンジ色の夕空に、帰巣するカラスが飛んでいました。毎日毎日、「どうすればもっと速く漕げるようになるのか」それしか考えていなかつた

高校を卒業してから、早くも半

よう思います。

あれから10年。気づけばいろいろなことをしてきました。海に潜つては

あつという間でした。この半年は初めての経験ばかりで、時間がたつのを感じました。この夏に帰省した際、甲子園での金足農業高校野球部の奮闘に秋田県が盛り上がっていました。全力でプレーする高校生の姿に心を打たれました。県民の活躍を皆で応援できる故郷があることは本当に幸せなことだと思います。久しぶりに会った友人とも高校生の時と変わらずに楽しく話をすることができ、嬉しく感じました。

先日、海外からの学生と二週間一緒に講義を受け、プロジェクトワークをするという大学のプログラムに参加しました。日本語でも自らの意見を主張するのが難しい議題について英語で議論するというもので、うまく自分の意見を伝えられずもう少し早い段階で、自分自身をもつと多くのことに関心をもち、周りの学生は様々な問題を深く考えていることに危機感を覚えました。もっと多くのことに関心をもち、自分のこととして捉えていかなければならぬないと感じた良い経験となりました。

いつでも温かく迎えてくれる故郷の存在があることを忘れず、新しい環境に自分自身をおいて、多くの人と関わりながら経験を積み重ねたいと思います。

略歴
平成30年3月卒業・お茶の水女子大学生
活科学部在学

秋田県立本荘高等学校同窓会創設110周年

平成29年9月30日(土)／由利本荘市文化交流館「カダーレ」



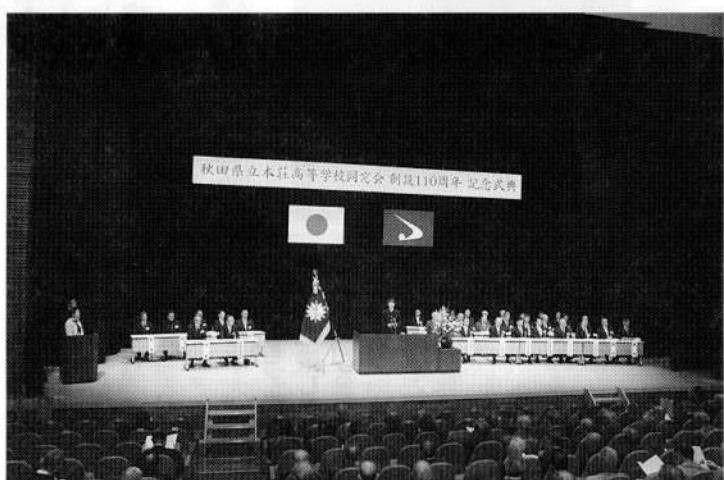
支部連絡協議会



北嶋信也(テノール)・浅野未麗(ピアノ)ご夫婦による記念演奏



応援団のリードによる校歌齊唱



記念式典



会長挨拶



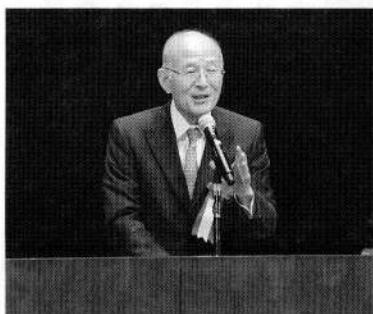
校長挨拶



生徒会長挨拶



来賓祝辞



記念講演



式典・講演会に参加する現役生徒たち



会場の様子



功労者表彰の受賞者の皆さん



懇親会の様子



恒例の万歳三唱

講師 読売新聞特別編集委員
橋本 五郎氏
演題 「真の教育とは何か」

今年の夏は酷暑と言われるほど暑さでしたが、秋田県民のみならず日本中をさらに熱くしたのが、高校野球夏の甲子園での県代表チームの粘り強い戦いぶりでした。全国から好選手を集め私立高校優位の状況のなか、数少ない公立高校しかも地元の子供たちだけで全国の名だたる強豪校に果敢に立ち向かい、ドラマチックなシビれる展開で勝ち上がっていく姿は、大きな感動と勇気をもたらしました。フィーバーをも巻き起こす人気の要因の一つは、多くの人々がこのチームの活躍に自らの懐かしい郷里を想い重ねて応援したことからだろうと言われています。

さて、昨年9月30日には本荘高校同窓会創設110周年記念式典が挙行され、全国各地から大勢の同窓生諸兄の参加のもと、盛大にお祝いすることができます。同窓会創設111年目にあたり、地元で、あるいは現在は故郷を離れて奮闘活躍されておられる同窓会の皆さんにとって、これからも親しい郷里を想い集う楽しい同窓会であること

陳場岱

同窓会副会長

78期

菊地長司